

宮城県松島自然の家 公式キャラクター



みさもん博士

宮戸島には、「ミサゴ」というとても珍しい鳥が生息しています。周辺の小さな島のてっぺんに巣を作り、いつも島上空をホバーリングしながら見守っているの、島の様々な情報を知っている鳥です。

そして「みさもん博士」と呼ばれる博士がいます。「みさもん」は、若い頃から島の自然や生き物等に興味を持ち、観察していたため大変な物知りとなり、「博士」と呼ばれるようになりました。ある日、いつものように島上空を飛行している時、大きな動物が島に入り込もうとしていたところを素早く見つけ、勇敢に追い払ったことから、島の生き物に大変感謝され、それ以来尊敬を集めています。

里浜、室浜、大浜、月浜には、そんな「みさもん博士」にあこがれ、弟子となった優秀で情報通なミサゴが一羽ずついて、浜の情報を博士に伝えています。博士と弟子達は、日夜島の生き物のために働いています。

冠とお腹にあるMの模様は、「ミサゴ」のM、「みやと」のMで、「緑」は宮戸島のシンボル大高森を、「青」は島の青い海を、「オレンジ」は輝く明るい未来（復興）を表しています。

令和3年3月	制定
基本デザイン	東松島市立鳴瀬未来中学校 2年 石森萌生さん
仕上げデザイン	関口雅代氏